

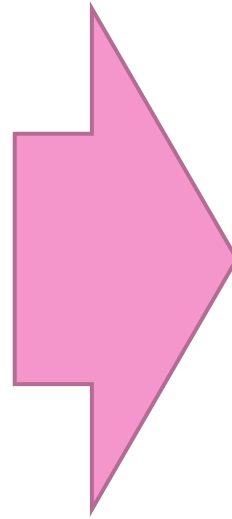
全ての家庭が子どもの 預け先に困らない町田市へ！

2022年12月 町田市議会 矢口まゆ 一般質問 項目2

ファミリー・サポート・センター事業の課題

▶ 「毎週水曜日の夕方」などの規則性のある利用にはいいが、イレギュラーな利用が難しい。

- ▶ 事前に面談をした援助会員にしか依頼することができないシステムで、規則的な利用が前提のサービスになっている。
- ▶ 急な利用希望や、不規則な利用、イレギュラーな利用には向かない。



子どもセンターや子どもクラブなど、開かれた子ども向けの公的な場所での預かりについては、

援助会員と依頼会員の事前面談がなくても預かりできるようにできないか。

ファミサポでこれができれば、土日に一時保育が行われていない点をカバーすることも可能と考える。（土曜日の実施園は限られており、日曜日は実施園なし）

一時保育の課題 予約が取りにくいという声

- ・育児で辛くて一時保育の利用を考えた。市の保育幼稚園課の窓口で、一時保育の相談をしたら、ここなら利用できますよ複数の園を教えてくれた。教えてもらった園に電話したが、全部使えなかった。結局、横浜市の一時的保育を使った。
- ・〇月〇日空いてますか。と聞くと、空いていませんと言われたため、では空いている日を教えてくださいいただけますかと聞いた所、「そういった予約の取り方は出来ません」と言われて結局予約できなかった。

育児で手一杯になった家庭を救うセーフティネットの役割もあるはずなのに、市の職員でさえも空き状況や各園の実施状況が分からない。



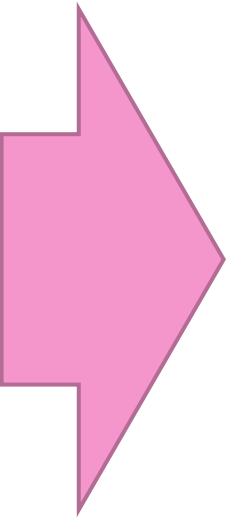
各園の空き状況が全く分からないため、利用したい時には片っ端から電話して聞いていくしかない。

ファミサポ、一時保育は 利用額減免の仕組みがない



- ▶ 多胎児家庭や一人親、未就園児が複数いる家庭などには、
ファミサポ（1時間700円）
一時保育（園によるが、一例として4時間1500円）
は、費用負担が辛い。

まずは以下のような家庭に限定しても良いので、減免の検討を！

- 
- ▶ 所得によって利用料金を減免
 - ▶ 多胎児や未就園児が複数人いる家庭の利用料金を減免
 - ▶ 一人親など、預け先に困る頻度が高いことが予想される家庭の利用料金を減免

前回議会での答弁

東京都のシッター助成の「大きな課題」

- ▶ ①保護者の経済的負担→保育園と同じ利用の場合、シッターの交通費等の保護者負担が6万円以上。
(月20日、往復1500円と仮定)
- ▶ ②サービスの安定供給→導入済み自治体で、利用したくてもできない、きてくれる人が見つからないという意見
- ▶ ③制度の継続性→都の補助を利用した制度のため次年度の都の判断による

シッター助成をやらない方が課題が残るのでは。

- ▶ ①では、同じだけファミサポや一時保育を利用したらいくらになるか。そっちの方が高くなるはず。
- ▶ ②保育園やファミサポと同様、100%の事業はない。選択肢を増やす努力をすべき。
- ▶ ③今現在預け先に困っている方にとっては次年度ではなく、「今の預け先」の問題。次年度の継続が不明だからと行って今年度やらなくていい理由にはならない。導入している自治体も同じ条件で導入している。